

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	512	施策	資源を大切に作る社会システムの形成
管理事業	ごみ処理事業	所管部局	環境部

1	所管室課	環境政策室	事業名	廃棄物処理施設整備費積立事業		
事業概要						
廃棄物処理施設整備費積立						
活動実績						
廃棄物処理施設の建替等に要する費用を基金に積み立てた。 (1) 令和4年度積立額内訳 公債利子 266,902円 一般財源 600,000,000円 (2) 令和4年度末基金残額 (R5年度当初基金残額) 4,165,422,793円 (3) 令和4年度取崩額 なし						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	800,442	800,023	600,267	
		一般財源の比率(%)	99.9	100.0	100.0	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 廃棄物処理施設整備に要する莫大な費用は、世代間で公平に負担する必要があることから、計画的な積立が求められる。						
今後の実施計画の方向性・内容						
継続						

2	所管室課	事業課	事業名	事業課庁舎管理事業		
事業概要						
事業課庁舎維持管理						
活動実績						
【令和4年度実績】 事業課庁舎を適切に管理するために、機械警備業務、清掃業務を実施。また男子トイレ、給湯室等の修繕を12件行った。						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	23,812	15,077	21,070	
		一般財源の比率(%)	99.9	99.8	99.8	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 建築後48年が経過し、老朽化が進んでいるため大規模改修を行う必要がある。						
今後の実施計画の方向性・内容						
継続						

3	所管室課	事業課	事業名	動物の死体等収集運搬事業		
事業概要						
動物の死体等収集運搬						
活動実績						
【令和4年度実績】 (1) 医療に伴う排出物等収集件数 376件 (2) 死獣収集件数 ペット 593件 野良猫等 778件						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	12,679	12,679	12,680	
		一般財源の比率(%)	88.0	87.4	87.9	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ペットだけではなく道路上等で死亡している動物も収集しているため、生活環境の保全には欠かせない事業である。						
今後の実施計画の方向性・内容						
継続						

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	512	施策	資源を大切に作る社会システムの形成
管理事業	ごみ処理事業	所管部局	環境部

4	所管室課	事業課	事業名	ごみ減量・資源化推進事業	
事業概要					
公共施設収集運搬委託（水銀使用製品産業廃棄物）、ごみ分別排出啓発、事業所減量・資源化指導					
活動実績					
【令和4年度実績】 （1）蛍光灯及び乾電池の収集量 蛍光灯 2,100.5kg 乾電池 650kg （2）事業所指導件数 753件の事業所に対し、ごみの減量・排出の抑制等を指導するとともに、自主的なごみの減量と資源化の取組をおこなうように指導を行った。 （3）持ち帰り防止パトロール 延べ445台の車両を使用し、パトロールを実施した。	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
	決算額(千円)	8,970	7,745	8,640	
	一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・水銀使用製品産業廃棄物は、他の廃棄物と混合しないように保管し、破碎せず収集することが必要なため、令和2年度から環境部にて指定管理者を除く公共施設から排出される蛍光灯等の処理を行っている。 ・事業者が排出するごみの中には資源化可能な紙類が多く含まれているため、資源化に関する情報提供等、更なる啓発活動が必要である。 ・資源物を持去る者に対するパトロールを中断すると持ち去り業者が増加するため、継続して実施する必要がある。					

5	所管室課	事業課	事業名	家庭ごみ収集運搬事業	
事業概要					
家庭系ごみ収集運搬直営、家庭系ごみ収集運搬委託					
活動実績					
【令和4年度実績】 （1）直営収集量 8,128.5t （2）委託業者収集量 63,868.8t	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
	決算額(千円)	1,942,993	1,969,619	1,994,398	
	一般財源の比率(%)	98.1	99.7	96.1	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・直営事業では、職員自身が収集することにより委託業者に対する的確な指導・監督や多様化する市民ニーズへの対応が可能となる。また、災害時や非常時にも迅速に対応できるよう直営体制を維持する必要があるため、継続的な職員採用や適正配置に努める。 ・委託事業では廃棄物の処理及び清掃に関する法律に規定する基準に従った委託及び適切な委託契約の締結を通じて、受託者が処理基準に従った処理を行うように指導をしていく必要がある。					

6	所管室課	資源循環エネルギーセンター	事業名	資源循環エネルギーセンター管理事業	
事業概要					
資源循環エネルギーセンター管理					
活動実績					
ごみ処理量 99,697.13t	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
	決算額(千円)	1,474,744	1,541,429	1,785,936	
	一般財源の比率(%)	75.5	76.6	78.6	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 事業効率の向上に努め、事業手法の検討や事務改善に取り組み、計画的な維持管理を行っている。 現在の事業費は適正であるが、設備の経年により今後事業費が増加する傾向がある。					

上記以外の予算事業

※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	512	施策	資源を大切に作る社会システムの形成
管理事業	ごみ処理事業	所管部局	環境部

7	所管室課	資源循環エネルギーセンター	事業名	大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備事業		
事業概要						
大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備						
活動実績		年度	R2	R3	R4	評価の視点
(1) 大阪湾広域廃棄物埋立処分場への埋立量 5,791 t (2) 普通建設事業費 (大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備事業) 4,069千円		決算額 (千円)	4,680	3,278	4,069	
		一般財源の比率 (%)	57.3	100.0	100.0	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 現在の事業の在り方で一定の事業効果は得られているが、処分場への排出枠の上限が近づいており、事業の更なる効率的な運用が必要である。					今後の実施計画の方向性・内容 継続	

8	所管室課	破碎選別工場	事業名	破碎選別工場管理事業		
事業概要						
破碎選別工場管理						
活動実績		年度	R2	R3	R4	評価の視点
令和4年度	処理量 15,224.89 t 再生資源回収量 8,213.98 t	決算額 (千円)	432,530	446,637	467,968	
		一般財源の比率 (%)	85.9	83.2	77.1	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・プラント設備の老朽化により維持管理にかかる労力は増大しているが、適切にごみ処理ができています。 ・老朽化した設備については、更新や適切な点検等により故障によるごみ処理停止を未然に防止する必要があります。 ・吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の改正で、平成31年4月1日から資源物の持ち去り行為を禁止したことによる影響やコロナ禍で、家庭ごみが増加している。					今後の実施計画の方向性・内容 継続	

9	所管室課	破碎選別工場	事業名	破碎選別工場等基幹的改良事業		
事業概要						
破碎選別工場等基幹的改良						
活動実績		年度	R2	R3	R4	評価の視点
平成30年度	基幹的改良事業補助金開始に伴う交付金交付可能性調査の開始	決算額 (千円)	26,125	787,897	837,408	
令和元年度	基幹的改良工事発注仕様書等の作成業務・長寿命化総合計画の策定業務	一般財源の比率 (%)	9.6	12.3	11.3	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
令和2年度	基幹的改良工事着手	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・交付金の交付要件であるCO2の3%以上の削減を確実にする必要がある。 ・工事中、設備切り替えのため、設備を停止する必要がある場合は、ごみ処理への影響を最小限に留めて対応する。			今後の実施計画の方向性・内容 継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	512	施策	資源を大切に作る社会システムの形成
管理事業	し尿処理事業	所管部局	環境部

1	所管室課	事業課	事業名	公衆便所管理事業	
事業概要					
高浜神社内公衆便所の維持管理					
活動実績					
【令和4年度実績】 高浜神社内の公衆便所を適切に管理するために清掃業務を実施した。また、扉の取替修繕を行った。	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ 公平性 ■ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
	決算額(千円)	45	357	266	
	一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 高浜神社内公衆便所は、昭和45年(1970年)万博開催に伴い、市内に訪れる方のために設置したが、万博閉会後50年以上経過し、当初の設置目的は既に果たしていると考えられる。現時点での公衆トイレの役割について調査し、今後のあり方について神社等と協議していく。					

2	所管室課	事業課	事業名	事業課業務グループ庁舎管理事業	
事業概要					
事業課業務グループ庁舎の維持管理					
活動実績					
【令和4年度実績】 業務グループ庁舎を適切に管理するために、機械警備業務、清掃業務、樹木剪定業務を実施した。また、屋上防水改修工事等4件の修繕を行った。	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
	決算額(千円)	8,092	3,797	14,902	
	一般財源の比率(%)	92.9	100.0	100.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 建設後47年が経過し、施設の老朽化が進んでいるため、早急な改善が必要である。また、公共施設最適化計画の中で、今後の方向性を検討する必要がある。					

3	所管室課	事業課	事業名	し尿収集運搬処理事業	
事業概要					
し尿の収集運搬、浄化槽清掃汚泥等の受入					
活動実績					
【令和4年度実績】 し尿は、委託業者による汲取り世帯及び仮設トイレ等の収集運搬に行った。 浄化槽は、許可業者による浄化槽等の清掃汚泥の搬入受入れを行った。 (1)し尿収集量 472.63kℓ (2)浄化槽汚泥等収集量 1,409.66kℓ	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 ■ 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
	決算額(千円)	33,194	32,797	33,021	
	一般財源の比率(%)	87.3	87.9	87.1	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・し尿収集運搬業務は全面委託しており、公共下水道普及により収集戸数が減少しているが、工事現場等の仮設トイレの収集等今後も需要が見込まれる。また災害時に備えて、継続的で安定的な収集体制の確保が必要である。 ・浄化槽の清掃は、浄化槽清掃業許可業者が行っているが、浄化槽を適正に使用するために、保守点検、清掃及び法定検査受検の啓発を続ける必要がある。					

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	512	施策	資源を大切に作る社会システムの形成
管理事業	産業廃棄物対策事業	所管部局	環境部

1	所管室課	環境保全指導課	事業名	産業廃棄物対策事業	
事業概要					
産業廃棄物対策					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
(1)事業場等への立入検査数 令和4年度・・・延べ183件 令和3年度・・・延べ350件 令和2年度・・・延べ355件 (2)産業廃棄物管理票（マニフェスト）交付等状況報告書の受理数 令和4年度・・・1,907件 令和3年度・・・1,872件 令和2年度・・・1,857件		決算額（千円）	5,211	4,863	
		一般財源の比率（%）	99.8	99.8	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 排出事業者への立入検査や建設現場等へのパトロールを継続的に実施することで、産業廃棄物の適正処理を確保し、廃棄物処理法等の目的である生活環境の保全に寄与している。 不法投棄等の不適正処理事案においては、現場指導が重要であり、警察と連携して指導する案件もあることから、警察OBである会計年度任用職員の配置は、継続して必要である。 業務の効率化や事業費の適正化については、今後も府内及び近隣中核市との情報交換を通じて適宜図っていく。					

	所管室課		事業名		
事業概要					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
		決算額（千円）			
		一般財源の比率（%）			※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題					

	所管室課		事業名		
事業概要					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
		決算額（千円）			
		一般財源の比率（%）			※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題					

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	512	施策	資源を大切に作る社会システムの形成
管理事業	資源リサイクル事業	所管部局	環境部

1	所管室課	環境政策室	事業名	ごみ減量・再資源化促進事業		
事業概要						
再生資源集団回収実施団体に対する報償金交付、ごみ減量・再資源化啓発、廃棄物減量等推進員						
活動実績						
(1)再生資源集団回収実施団体に対する報償金交付実績		年度	R2	R3	R4	評価の視点
支給額 42,909,104円		決算額(千円)	48,149	54,645	43,187	
支給団体数 444団体		一般財源の比率(%)	100.0	99.3	100.0	※課題があるものは■
回収量 6,129,872kg		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
(2)ごみ減量・再資源化啓発		新聞等の紙媒体の発行部数が減少することで再生資源回収量は減少傾向にある。また、子供会の解散等により登録団体数も減少傾向にある。登録団体の解散時には、自治会等で取組を承継するように呼びかけてる。ごみ減量、再資源化に対する市民等の自主活動を強化・拡大し意識の向上を図っている。今後も、継続的な啓発活動が必要				今後の実施計画の方向性・内容
(3)廃棄物減量等推進員事業		令和4年度推進員数 292人(令和5年3月31日)				継続

2	所管室課	環境政策室	事業名	資源リサイクルセンター管理事業		
事業概要						
資源リサイクルセンター管理(指定管理者施設管理)						
活動実績						
(1)貸館利用状況		年度	R2	R3	R4	評価の視点
令和4年度 貸館件数 605件、延利用者数 13,049人		決算額(千円)	50,582	49,925	55,208	
令和3年度 貸館件数 454件、延利用者数 8,133人		一般財源の比率(%)	99.5	0.0	99.2	※課題があるものは■
令和2年度 貸館件数 512件、延利用者数 8,281人		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
(2)視察状況		若年層を含めた吹田市民全体への認知度の向上に向け、SNS等のインターネットを活用した取組を強化する必要がある。新しい工房コンテンツ開発や市民ニーズの高い問題(地球温暖化問題、プラごみ等)をさらに取り込んでいく必要がある。				今後の実施計画の方向性・内容
(3)工房運営状況		令和4年度 見学者数 4,868人、実技指導数 4,245人 令和3年度 見学者数 3,793人、実技指導数 3,333人 令和2年度 見学者数 3,122人、実技指導数 2,686人				継続

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)				
		一般財源の比率(%)				※課題があるものは■
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
						今後の実施計画の方向性・内容

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名